

令和4年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	02	01	02	124040	広報活動事業費			
総合計画	分野	05	行政経営	政策	01 効率的・効果的な行政運営			
	施策	03	わかりやすい市政情報の提供					
目的	市民に市政の状況を理解してもらうため、各種広報媒体を効果的に活用して情報を発信する。							
対象	市民							
意図	市の施策や事業、情報を知ってもらう							
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報紙の発行 43,800千円 市の施策や事業、情報を伝える「広報はなまき」の発行、転入者等へ配布する「花巻市暮らしガイド」の発行 ○ FM番組の制作 19,936千円 市の施策や事業、情報を伝えるコミュニティFM番組の制作 ○ ホームページ等の活用 12,483千円 ホームページ・ツイッター・フェイスブック・インスタグラムによる市政情報の発信など ○ 映像データの作成 2,317千円 市のイベント等をニュース映像としてケーブルテレビで放送 ○ 有線放送 20,345千円 市の施策や事業、情報を伝える有線放送の運営業務委託と放送施設の更新、保守管理 							
市民参画の有無	対象外							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05	
1	広報はなまき発行部数			部	計画	36,500.00	36,600.00	
					実績	36,600.00	36,669.00	
2	有線による放送件数			件	計画	650.00	650.00	
					実績	529.00	617.00	
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05	
1	広報など市から提供される情報がわかりやすいと思う市民の割合			%	目標	70.00	70.00	
					実績	58.80	58.10	
2					目標			
					実績			
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		○		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
「広報はなまき」において、新型コロナウイルスワクチン接種をはじめ、物価高騰対策に対する支援、各種イベント等に関する情報などの周知を積極的に実施。複雑な制度等についても、できる限り分かりやすい内容となるよう努めたが、成果指標としているまちづくり市民アンケートの結果では、目標の数値を上回ることができなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市と市民が情報を共有するためには市からの情報発信が不可欠である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	分かりやすい情報を発信することにより市民の興味を引き付け、読む・聴くといった行動を更に促す。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	情報発信を目的とした印刷物を広報紙に集約しているため、広報ページ数の削減は困難である。外部委託等で人件費の削減に努めており、また、その委託費についても適正なものであり、削減の余地がない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	市民に広く情報が伝えられている。
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価	○ 適正である	
	今年度の振り返り	新型コロナウイルスワクチン接種をはじめ、物価高騰対策に対する支援、各種イベント等に関する情報などの周知を積極的に実施。広報はなまき、市ホームページ、SNS、コミュニティFM、ケーブルテレビなど複数の手法により、市民に対して効果的でタイムリーな情報発信に努めた。
	次年度に向けて	月に2回発行している「広報はなまき」について、配布の負担軽減等のため発行回数を見直しを求める声があることから、市民アンケートに広報の発行回数に関する設問を新たに設け、市民の意見を聞きながら引き続き検討を進める。